

巻 頭 言

JFE ホールディングス
代表取締役副社長

岡田 伸一



経済活動が環境に負荷をかけず、調和型の持続可能な社会をいかに構築していくか？これは 21 世紀において人類が取り組むべき重要な課題です。特に環境・エネルギーの問題は我々現世代だけでなく次世代の人々にも大きな影響を及ぼす可能性がありますので、有効な対策を実行していく必要があります。

JFE グループは、「地球環境の向上を経営の重要課題として位置付け、環境と調和した事業活動の推進によって、豊かな社会づくりを目指す」ことを環境理念として掲げ、事業活動に伴う排出物削減や CO₂ 排出低減による地球温暖化防止と環境負荷低減に取り組んでおります。また、循環型社会の形成に貢献する鉄鋼エコロジー製品、省エネルギー技術のエンジニアリング、再生可能エネルギー事業、リサイクル事業の展開を通じて、地球環境保全に貢献しております。一方、創エネルギーの観点では太陽光発電事業や地熱発電、ゴミ処理発電などのエンジニアリングにより、地球に優しいエネルギー開発を進めております。さらに、東日本大震災で大量に発生した瓦礫を迅速に処理するために、震災直後の仙台市において 3 ヶ月でごみ焼却炉を建設し、2012 年度に約 26 500 トンを処理するなど、震災からの復興にも我々の環境技術が役立っております。

今回、JFE 技報では、「環境・エネルギー」をキーワードとして特集号を企画いたしました。環境調和型鉄鋼製品による社会貢献や CO₂ 排出低減による地球温暖化防止技術を紹介するとともに、社会から注目されている再生可能エネルギー事業の展開や幅広い省エネルギーと創エネルギーの製品・技術を紹介いたします。また、環境負荷低減に貢献するさまざまなリサイクル事業と技術開発、さらに産官学の関係・協力の取組みについても紹介いたします。

これらの環境・エネルギーに関する技術、製品、事業の創出に向けた取組みと成果は、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献する」という企業理念のもとに長年取り組んできた技術開発を通じて生み出されたものであります。これからも技術力をベースとしたソリューションを提供することで、持続可能な社会の構築とより良い地球環境の創造に挑戦していく所存です。